

# ペルシヤ 渡航記 5

FREE PAPER  
2023 SPRING



# UK & IRAN

OVER 3 YEARS



UK & IRAN  
イングランド

自社リペア前提で  
年季の入った品も  
どんどん買付け！



アンティーク家具を求め  
イングランドの北西部、  
マンチェスターに。

UK & IRAN  
DAY  
01~02



関西国際空港より20時間。ドバイ経由でマンチェスターに。12時間過ぎに空港到着しました。ホテルに荷物を置いた後、早速アンティーク家具がある倉庫へ。限られた時間で家具を見付ける為スロースタートは禁物。山のように積まれた家具から、店で紹介したい品や気になる品にどんどんマークを付けていきます。これらは翌日金額のチェック後正式に買付けを決定します。大移動から休みなしで買付けし、更に時差ボケにより、疲れが体に重くのしかかってきました。夕食は倉庫のオーナー達とPUB(レストラン)へ。店内にあるテーブルと椅子は全てイギリスアンティーク家具。伝統的な家具文化が今も身近にあり、感慨深かったです。

UK & IRAN  
DAY  
03



朝、まずは散歩に。郊外にあるホテルから牧場沿いに進み、途中見つけた路地から住宅街へ。建物全てレンガ造りで、イギリスに長く続く住文化に触れた気がしました。今日はコンテナ内に詰め込まれた、リペアが必要なアンティーク家具運び出し選んでいきます。弊社が得意とするところですが、見たい家具に行き着く為に家具をどかして進みますが、重い。選んだ家具は表に出して再選定。雨が降ったりやんだり、天候に付き合いなから作業です。やりがいのある家具に次々出会い、悪天候すら楽しみなが家具選びを進めました。今回はイギリスの伝統的なオーク・ファニチャーはもちろんその他魅力的な家具に出会えました。皆様にお披露目できるのが楽しみです。

UK & IRAN  
DAY  
04



アンティーク倉庫の最終チェック。4日目予定通り進行する為集中して挑みます。前日挑めなかった倉庫の隅にある古い椅子の山、それらを順に攻略していきます。絡み合う様に積まれた山から発掘した、ポテンシャルを感じる朽かけの椅子。百五十年ほど経つ、ベンキが塗られた「smoke how chair」。それらの修理工程を想定しながら、価格交渉を進めます。ランチがてら椅子の張地で日本にはない生地を探しにファブリックの買付けに。オークチェアに合いそうな生地を見付けました。今回買付けたりリペアの要る椅子に張つてみようと思います。夜はチェスターの古い町並みを散策しながら、一日の疲れを癒しました。

イングランド滞在で唯一の晴天。取引先の知人の店に寄りつつ、マンチェスターのアンティーク雑貨の店を巡ります。狙いはグラスなどのカットガラス。とはいえ、我々が普段使う品とサイズや形が少々異なる為、オーダーメントとして購入できればと思っていきます。クリスタルやガラス、更に、ハンドカットが型はめか確認しながら選んでいきます。プレート等も、古い物や名の通ったメーカーのもの等良いものが見つかりました。アンティーク家具にディスプレイするのが楽しみです。夜は2日前にも来た気がする中華料理。ホテルに戻った後も、イングランド最後の夜を惜しみながら、BARでギネスビールをいただきました。

コロナ禍を経て、3年ぶりのイラン。  
首都テヘランと絹の名産地クムに  
ウール&シルク絨毯を求めて。

UK & IRAN  
イラン



トラブル&久々の  
渡航で今まで以上に  
濃密な買付けに！

UK & IRAN  
DAY  
06~07

イラン入国時コロナPCR検査の為飛び回る事に。ある筈の場所に検査場が無く、タクシーで移動先へ。ドライパーも巻き込み、大きな施設内の検査場を探しました。しかし、検査結果が間に合わず、予定していたフライトを逃す結果に。テヘランに午前9時半頃に到着予定でしたが、大移動の末、夕方18時頃に到着に。何とか失った時間を取り戻そうと、20時半頃まで取引先の倉庫でキャットベ選びに専念しました。ホテルに到着したのは21時半。疲労困憊で体がだるく、食後シャワーを浴び、倒れる様に就寝。当初、イラン初日はクムへ入り、シルクの工房を回る予定でした。何とかこの2日で遅れを取り戻し最終日のフライトの前にクムへ向かいたいです。

UK & IRAN  
DAY  
08



今回の渡航はイスラム教のラマダン中で、日中の飲食が出来ずお店も営業していない様子。それはそれで楽しみながら過ごそうと思います。本日はテヘラン内にあるハザールでベルシヤ絨毯を探します。久しぶりなのでワクワクが止まりません。マシャド、クム、ケルマン、タブリーズ等、いつもの様に取引先の仲間が事前に来てくれた各地の絨毯と対面。山のようにある品々を、目か回るようハザールが始まる午前10時頃から終了後の午後20時頃まで業者の方達には長い時間付き合ってもらいました。初日の移動によるロスは取り戻したように感じましたが、明日の午後には今日選んだ品々の確認作業が待っています。一体どれだけのやら。

UK & IRAN  
DAY  
09



午後からの確認作業の前に、アンティーク等の希少な品や少し上質な品をコレクションしている絨毯業者の元へ行く事に。希少と一言に言っても、イラン革命前の織がしっかりした品や、今は無き上質な絨毯産地でアンティークものしか手に入らない品等種類は様々。目移りする程揃ったそれらを吟味して出来る限り選んでいきます。2時間程の作業でしたが良い仕入れができました。中には手放したくないものもお披露目するのが今から楽しみです。

UK & IRAN  
DAY  
10



イラン最終日。夜のフライトに間に合う様、朝一でクムへ向かいます。クムで織られるクムウールは勿論、シルク絨毯の産地としても有名です。シルク絨毯は各地で織られています。日本で一番名の知れた産地とも言えます。シルク絨毯の普及は、意外にも百年経っていません。実用性に勝るのは圧倒的にウールですが、シルクの美しさは誰も疑うところがありません。今回お邪魔したのは、アーマリ工房。オーナーはクムのシルク絨毯組合の長も務めています。いい商談の予感を感じながら、大理石仕上げの外壁が特徴的な事務所へ。時間に限りがあるもの、紅茶とフルーツが振舞われました。

イラン時間を頼りに、床が大理石で張られた部屋へ。サイズ毎に床に並べられたシルク絨毯を選んでいきます。選び終わる度、絨毯が撤収され再度並べられます。選定作業を繰り返した結果、当初の予定よりかなり選んでしまいました。その中で光る物を見つけた。選んだものの再選定をします。[There is no time!] そんな声を聞きながら、何とか全ての工程を完遂。慌ただしく工房を出て、急ぎ空港へ。短時間でしたが、充実した時間を過ごせました。日程調整していただいたアーマリ工房に感謝です。クムは緑も多く、綺麗な町でした。また訪れたいです。

